

かえでの森

第 42 号 平成 27 年 12 月 1 日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel)0550-87-0004 (Fax)0550-87-5360

(E-mail)info@fukusei.jp (ホームページ) <http://www.fukusei.jp/>

《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

《 基本方針 》

1 患者様本位の医療

患者様一人ひとりの生活を重視し、地域のニーズに応えるサービスを提供します

2 職員の人材育成

優れた人材を育成するため、研修を充実し、専門・認定資格の取得を目指します

3 経営の安定化

病床利用率を高め、病院の経営状態を安定化します



病院で見つけたちいさい秋

診療技術部長

川口秀俊

ある日の昼休み、“キィー キィー キチキチキチ” と甲高いモズの鳴き声が、木の葉が色づき秋が深まる復生病院の中庭から聞こえてきました。最近あまり聞くことのないその声に、ふと懐かしく思い出された歌がありました。

皆さんはこんな歌を覚えているでしょうか。



誰かさんが 誰かさんが 誰かさんが みつけた
ちいさい秋 ちいさい秋 ちいさい秋 みつけた
めかくし鬼さん 手のなる方へ 澄ましたお耳に
かすかにしみた 呼んでる口笛 もずの声
ちいさい秋 ちいさい秋 ちいさい秋 みつけた



詩人のサトウハチローが作詞した童謡『ちいさい秋みつけた』の1節です。年を重ねてから改めて聴いてみると、大変に味わい深いものがあります。

この童謡の解釈はいろいろありますが、長く病床に臥している患者さんが、鬼ごっこをして遊んでいる子供たちのはしゃぐ声を聞きながらベッドで耳を澄ませていると、そこに不意に飛び込んできたモズの声にかすかな秋の訪れを気づかされたというものです。復生病院で療養されている患者さんたちも、病床からの外界への興味とか、音や環境の変化に敏感になられているのではないのでしょうか。自然豊かな当院では、穏やかな日差しを浴びながらベッドごと木立の中を散策されている様子が垣間見られます。『なによりも患者さんの為に』と職員一丸となって日々研鑽してまいりますので、今後ともご指導いただきます様よろしく願いいたします。





祈りの人・シスター湯川智

“満天の星空の如く 清らかに

しずかに逝けり 愛する^{とも}修友は“

これは最後のお世話をしたシスターが詠んだ歌である。

シスター湯川智は9月8日に誓願宣言60周年を、9月29日に満90歳のお誕生日を迎え、10月13日に天の御父のもとに旅立っていった。30歳で復生病院の医師として就任し、名誉院長として退職するまでの53年間、ハンセン病者に一生をささげた彼女は静かで温和、人の痛みの分かる方であった。若い頃に観想生活にあこがれていた彼女は、祈りへの憧憬が深く、忙しい病院業務の合い間にも決して祈りをおろそかにすることはなく、いつもロザリオを手に祈っていた姿が目につかんでくる。人の批判を決して口にせず、シスターたちが愚痴をこぼすと「そんなこと言っちゃダメ」といつも諭された。お世話をしている職員の方々には、何事にも「はい、ありがとう！」と素直に応じ、感謝しておられた。思い起こせば長い年月ハンセン病の患者さんたちの医療とお世話に明け暮れて、修道女として私たちと共同生活を共にすることもままならず、病院一筋の生き方であった。

晩年になって院長職を退いて静かな祈りの生活を送れたことは、私たちにとっても神さまからの特別な贈りものとして彼女のために嬉しく思っている。彼女の大好きな聖母マリアと共に天国で安らかに休みください。

理事長 秋本福子



ふれあい作品展開催

事務部 和田好徳

平成27年11月10日～11月18日までの間、正面外来入口ホールを会場に、ふれあい作品展を開催しました。入院患者さんをはじめそのご家族やボランティアのみなさまと職員の作品を展示し、昨年より多い28名89点の絵画、写真、書、陶芸、織物、フラワーアレンジメント等作られた方の真心が伝わってくる見ごたえのある作品でした。その作品を患者さんや来院された方が、一点一点熱心に鑑賞されていた姿が印象に残りました。

出品を頂いた皆様、見に来て下さった皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。来年も同時期に開催を予定しますので、多くの方の参加をよろしくお願いします。



職場紹介(ホスピス病棟 看護補助編)

「ここは神様に守られている病院だから大丈夫！」

この言葉は入職したての私に患者様から言ってもらった一言です。ホスピス看護補助6人、神様に守られた病院でそれぞれの良さを十二分に発揮し、日々の業務に取り組んでいます。患者様の身近で接することが出来る私達だからこその^{こころくば}心配り、いつだって本気です。一日一日を大切にして過ごして欲しいから、一致団結して頑張っていきますので応援よろしくお願いします。



(ホスピス病棟看護補助 小谷中美津子)



「平成27年度追悼ミサ」を終えて

事務部 中山善之

11月14日午後、当院で亡くなられた患者様の追悼ミサが行われました。当日は22家族38名の出席があり、多くの方が茶話会にも出席して下さいました。ミサは、御殿場教会の金子尚志神父様司式で行われ、病院スタッフも参加し、とても良い雰囲気の中でのミサとなりました。茶話会では、ご遺族の方々のお元気な姿を拝見し、皆様の近況を知ることができ心とむ時間となりました。



追悼ミサの様子



ミサ後の茶話会



院内の像④ ～クリスマス～

シスター徳永美智子

「院内の像」シリーズに、なぜクリスマスのお話をとられるのでしょうか。街中では12月に入ると至る所でクリスマスソングが聞こえてきます。キリスト教信者でない人々もクリスマスツリーを飾り、幼い子供たちはサンタクロースからのプレゼントを楽しみに待っている日です。クリスマスが近づくと、教会や信者の家は馬小屋の模型を飾ります。復生病院の聖堂ホールにも馬小屋を作り、イエス・キリストの誕生の日を待ちます。そうです。クリスマスはキリストの誕生をお祝いする日です。人間となり私たちの元に送られてきた赤ちゃんのキリスト。馬小屋の中には牛やロバが飼われていたことでしょう。貧しい人としてこの世に生まれたキリスト。母マリアと養父ヨゼフに見守られているキリストのご像が飾られます。ちなみにクリスマスとはキリストのミサという意味です。この季節、病院玄関や各病棟にはクリスマスツリーや馬小屋が飾られ、イエス・キリストの誕生を待ち望みます。今回はテレジア像についてお話ししましょう。お楽しみ。



旧会議室



聖堂前ホール



今回のおすすめ

『ひとりカラオケ』

最近のマイブームはカラオケです。友人と行くことが多いですが、この間は今流行の「ひとりカラオケ」してきました。

1人なんて…と思ってしまうかもしれませんが…でも実際に行くと大丈夫でした。誰もいないから気にすることもないし、歌いたい放題でとても楽しかったです。

皆さんもぜひ1度、「ひとりカラオケ」試してみてくださいませんか？

(ホスピス病棟 瀬戸志津香)





外 来 担 当 表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科(平田) 循環器科(関口) (第3週) 心療内科(飛澤) (予約制)	内科(林)	内科(平田)	内科(林)	内科(江藤) 心療内科(飛澤) (予約制)	心療内科(飛澤) 皮膚科 (皮膚科外来予定表を ご覧下さい)	休 診
午 後	循環器科(関口) (第3週) 14:00~15:30	休 診	休 診	緩和ケア外来 (平田) (予約制)	休 診	休 診	

- ☐ インフルエンザの予防接種をご希望の方は受付・外来にご相談下さい。
- ☐ 土曜日午前の内科外来はしばらくの間、休診となります。
- ☐ 12月25日、12月30日~1月3日外来は休診となります。

皮膚科外来予定表



太田 有史 医師			
診察開始	9:00	診察日	12/5 ・ 1/2 休診 ・ 2/6
新村 真人 医師			
診察開始	9:00	診察日	12/12 ・ 1/9 ・ 2/13
石地 尚興 医師			
診察開始	9:00	診察日	12/26 ・ 1/23 ・ 2/27

お知らせ：第3、5土曜日の皮膚科外来は休診となります。
口都合等により、休診や代診場合があります。お電話でお問い合わせのうえご来院下さい。

復生記念館復原途中現場見学会

復生記念館の復原途中の現場見学会が昨年に引き続き 11月7日(土)に開催されました。今年は31名の方々に参加して頂きました。先ず名古屋工業大学の麓教授から建物や工程の説明、新たに分かったことなどのお話があり、その後記念館に移動し実際に現場を見ていただきました。古い部材も多く残っておりそれを修復し復原している現場に参加して下さった方々様に驚き、調査の綿密さと大工さんの細かい作業に感心していました。瓦も復原すべく、現在三河で焼いています。工事の完了は来年の夏頃、皆様にご覧いただけるのは10月頃を予定しております。完成をお楽しみに！！

(記念館 森下裕子)



今しか見れない壁の下地を見ることが出来ました



発砲スチロールの模型で瓦の説明



高い足場から屋根の説明

編集後記

このところ本格的に寒くなってきて院内の紅葉も進み落葉も増えてきました。この広報誌の名前の由来にもなった『かえでの森』、昭和8年に貞明皇后よりいただいた楓の実生が82年を経て現在のかえでの森になっています。かえでの森の端には創立50周年に植えられ76年たった銀杏の木もあります。もうすぐ、楓の紅い落葉と銀杏の黄色い落葉でいっぱいになります。厚く積もった赤と黄色の絨毯の上を歩くとサクサクと私はなんだか楽しい気分になります。晩秋のセンチメンタルな気分になる人もいるかも？皆さんはどっち派、ほんの短い期間ですのでタイミングを見て落葉の絨毯を試してください。

編集委員 Mo